

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公開番号】特開2008-34944(P2008-34944A)

【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-006

【出願番号】特願2006-203373(P2006-203373)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/40 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/387 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/40 Z

G 0 6 T 7/00 2 0 0 Z

G 0 6 T 1/00 3 1 0 Z

H 0 4 N 1/387

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月25日(2009.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データがシートに印刷される際に第 1 の面積率より低く、かつ、第 2 の面積率より高い面積率でドットが打たれる領域を特定する特定手段と、

前記シート上の前記特定手段で特定された領域から紙指紋情報を取得する取得手段とを有し、

前記第 1 の面積率は、前記第 2 の面積率より高いことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記特定手段は、前記シートを均等分割した際の境界線から所定の距離以上離れた領域の中から、前記第 1 の面積率より低く、かつ、前記第 2 の面積率より高い面積率でドットが打たれる領域を特定することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記特定手段は、前記シートの端から所定の距離以上離れた領域の中から、前記第 1 の面積率より低く、かつ、前記第 2 の面積率より高い面積率でドットが打たれる領域を特定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

特定手段が、画像データがシートに印刷される際に第 1 の面積率より低く、かつ、第 2 の面積率より高い面積率でドットが打たれる領域を特定する特定工程と、

取得手段が、前記シート上の前記特定工程で特定された領域から紙指紋情報を取得する取得工程とを有し、

前記第 1 の面積率は、前記第 2 の面積率より高いことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の制御方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。

## 【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置及び画像処理装置の制御方法及びプログラム

## 【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、紙指紋情報（以下では、紙指紋情報のことを紙紋とも称する）情報を取り扱うことができる画像処理装置及び画像処理装置の制御方法及びプログラムに関する。

## 【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

上記課題を解決するために、本発明の画像処理装置は以下の特徴を有する。即ち、画像データがシートに印刷される際に第１の面積率より低く、かつ、第２の面積率より高い面積率でドットが打たれる領域を特定する特定手段と、前記シート上の前記特定手段で特定された領域から紙指紋情報を取得する取得手段とを有し、前記第１の面積率は、前記第２の面積率より高いという特徴を有する。